



日進北小だより

平成29年10月3日 10月号 第6号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標 ; ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○健康な子

夕焼けは晴れ、朝焼けは雨

校長 宇佐見弘幸

9月30日、多くのご来賓、保護者、地域の皆様方にご来校いただき、秋季大運動会を開催することができました。演技や競技には温かな拍手や励ましのお言葉をいただき、ありがとうございました。子どもたちはそれを励みにし、教職員は改めて指導の責任の重さを痛感しました。近隣の皆様には運動会当日のみならず、練習期間中も大変なご迷惑をお掛けしました。日頃よりのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。今後とも、よろしくお願いたします。

さて、運動会といえば気になるのがお天気です。当日の天気はどうかと調べていたら、お天気に関することわざに出会いました。昔は今のよう天気予報が発達していなかったため、様々な自然の変化をとらえ、言い伝えや経験によって判断したのだそうです。例えば「秋の夕焼け鎌を研げ、朝焼け蓑をもて」というものがあります。夕焼けの翌日は晴れるから、収穫する支度をしなさい。朝焼けのときは天気が悪くなるから雨具の準備をしなさいということです。「夕焼けは晴れ、朝焼けは雨」はよく知られていて、よく当たる天気のことわざです。実はことわざには科学的な根拠があるのだそうです。太陽が西の空に沈もうとするとき、西の空が晴れていると、太陽の光が大気の長い層を横切ってきます。このときに、空気中のちりなどによって、波長の短い紫や青の光は地上に届く前に散乱し、波長の長い赤や黄色の光だけが届きます。これが夕焼けです。日本の上空には偏西風という強い西風が吹いているので、高気圧や低気圧は西から東に進み、天気も西の方から変わります。そこで、西の夕焼けが見られるときは、西の良い天気がこちらにやってくるので晴れになるのです。朝焼けのときは、高気圧が東に移動して、東の空が晴れています。その後、西の方から低気圧が近づいて来るために天気が崩れることになるのだそうです。このほかにも天気に関することわざはたくさんあります。「遠くの高い山が見えれば晴れ」「雲が南から東へ動くと晴れ」「帯状すじ雲が出たら雨」「煙が西にたなびけば雨」などは、科学的な根拠がありそうなものです。昔の人が長い年月をかけて経験から天気の変化をとらえたこと、それらが科学的に証明されることは驚くべきことです。

現在は、各種の情報が身の回りにあふれています。スマートフォンを使えば、雨雲の様子を知ることができ、天気の予測をすることができます。しかし、時には空の様子をみて、風の様子を感じて昔の人の経験や自分の感性で、天気を予測することも必要なのではないでしょうか。

秋は、校外で生活する機会が多くなります。下を見て手元の情報に頼るばかりではなく、顔をあげ、大空を見ながら自分の感性を信じてみるのも楽しいかもしれません。